

## 第9回盛岡市新市庁舎整備審議会（会議録要旨）

- 1 開催日時 令和6年5月17日（金） 10：00～12：10
- 2 開催場所 盛岡市勤労福祉会館（紺屋町2－9） 401・402会議室

### 3 出席者

- (1) 委員 11名

倉原宗孝会長、福留邦洋副会長、浅沼清一委員、宇佐美誠史委員、落合昭彦委員、小山田サナエ委員、小枝指好夫委員、駒井元委員、今野紀子委員、高橋悟委員、中島清隆委員 ※欠席：赤坂岳史委員、菊池透委員

- (2) 一般傍聴者 5名

- (3) 報道関係者 10社

- (4) 事務局

渡邊総務部長、滝村都市整備部長、鈴木参事兼管財課長、松田都市計画課長、牧野企画調整課主幹兼課長補佐、吉田財政課長補佐、遠藤新市庁舎整備室長、早坂新市庁舎整備室副主幹、小野寺新市庁舎整備室主任、佐藤新市庁舎整備室主任

### 4 会議の概要

別添 会議発言要旨のとおり。

## 《別添 会議発言要旨》

(進行)

それでは予定の時刻となりましたので、ただ今から第9回盛岡市新市庁舎整備審議会を開催いたします。本日の会議は、委員13人中11人と半数以上の出席がございますので、盛岡市新市庁舎整備審議会条例に基づき成立するものでございます。それでは会議の議長を、倉原会長にお願いいたします。

(会長)

既にお手元にありますけれど、皆さんに評価いただいたものが、事務局で結構しっかりまとめていただいたと思います。これについて審議いただければと思うところです。

まずは「報告」について、事務局からお願いします。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨1のとおり説明\*\*\*

(会長)

ありがとうございます。ご質問、ご意見ありますでしょうか。これはよろしいですね。では早速、議事に入らせていただきます。まず、「議事(1) 整備エリアの評価について」事務局からお願いします。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨2のとおり説明\*\*\*

(会長)

私たち一人ひとりが評価したものを、事務局でまとめていただいて、そのご説明だったところです。ご質問ご意見などいかがでしょうか。

(委員)

先ほどご説明いただいた資料2ですが、「集約評価」のところではそれぞれ優位性という言葉で書かれていて、「総括」の部分では適合性という表現で書かれているかと思います。優位性という言葉と、「総括」で書かれている適合性、この言葉の使い分けなり意味について説明いただきたい。

(事務局)

優位性は、数量的なところで見たと、パーセンテージで示した部分での優位性という形で使わせていただきました。適合性は、コメントの集約において、数量化できない部分についての適合性

ということで表現させていただいたものでございます。

(会長)

ほか、皆様からいかがでしょうか。また何かありましたら、その都度ご質問いただければと思います。次、(3)、(4)について、事務局からご説明よろしいでしょうか。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨3のとおり説明\*\*\*

(会長)

先ほどの適合性あるいは優位性、少し言葉の微妙なところも踏まえつつ、アドバイス、ご意見、ご質問などいただければと思います。

\*\*\*意見なし\*\*\*

それでは、そのまま続けさせていただきまして、次も事務局から説明よろしいでしょうか。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨4のとおり説明\*\*\*

(会長)

それではAからEまでありますが、Aの4つの評価項目について、まとめてご説明いただいたところです。それに対してここでは、上位計画から経済効果まで、一つひとつ確認していければと思います。今までの議論を集約したもので、ある意味非常に重いものかと思います。お気づきのことなどご意見いただきながら、さらに洗練していければと思うところです。

まず、冒頭の2ページ「A まちづくりへの影響」の「上位計画・都市計画」について、お気づきのことがありますでしょうか。あるいは、この言葉をこのようにした方がいいなど、ご質問など含めていかがでしょうか。

(委員)

全体の見せ方として、資料の上の方が各委員の評価を表したもので、それぞれのコメントを含めたものが「集約評価」と理解していますが、「集約評価」の文章（「総括」）のところ、コメントと優位性をもとに文章化したものというような見せ方があった方がいいかと思う。最初見たとき、優位性だけを文章化したものと誤解した。

例えば、優位性+コメントというような説明を、1枚の中で分けてプリントするよりも、別な1つにまとめる形で示した方が、誤解が少ないように思う。個別ではなく、全体の見せ方について気付いたのでお伝えしました。

(事務局)

ご意見を参考にしながら整理をしていきたいと思えます。

(会長)

既にお気づきと思いますが、例えば、上段の「○」とか「◎」の記号は、下段の記号と意味が違ふんですよね。上段の「○」とか「◎」は私たちが評価した「○」とか「◎」ということで、下段は、集計したらこのようになるよということで、ちょっと意味が違ふます。

その辺のことや、今のアドバイス含めて、事務局にお任せでいいでしょうか。

(事務局)

第10回審議会のときにお示しできればと考えております。

(会長)

分かりました。今のは、全体にわたることとして、このページ、上位計画・都市計画についていかがでしょうか。

(委員)

上位計画・都市計画のところのみ、重みづけの意見があったということですが、記号を点数にして計算するにあたり、この重みづけという意見を入れるとすると、その点数が変わってくるのでしょうか。

(事務局)

重みづけについてですが、先ほどご説明のとおり、意見をいただいたのはここ一か所で、その他に重みづけという意見はございませんでした。実際、今回、4段階で委員さんに評価していただいたのですが、回答にあたり、ある程度重みが考慮されていたものと考えております。

ただ、重みづけする場合には、倍にすると何か基準を考えなければならないところですが、なかなかその基準を作るというのも難しいのかなど。事務局としてはあえて重みづけはしない形でまとめさせていただきました。

(委員)

このあたりのコメントが入っていることはいいと思うんですけど、最終的に、重みづけをしてもしなくても、実は結果は変わらない。重みを変えたとしても、人の数で見ても、点数の総合計から見ても、優位性の評価で結果は変わらないということが見えています。先ほどのご説明のとおり、皆さんが意識的か無意識的かはありますが、「◎」の評価をそれぞれの項目の中で、「◎」に上げるものと「○」で留めているものという形で重みづけがされているのかと思えます。最終的な見せ方として、重みづけしない場合は文面については消した方がいいと思えます。

(会長)

消すか、あるいは重みづけも含めて多角的に検証してみたんだと入れるか、その辺はお任せということでよろしいでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

ほか、いかがでしょうか。後で、見ていくと出てくると思いますが、この段階で、このページ、よろしいでしょうか。

(委員)

「総括」のところの見せ方で、先ほどのご意見を聞きながら思ったところなのですが、委員の方のコメントと優位性で書かれているような形になっているのですが、コメントそのものところは、どちらかと言うと評価するポイントがそれぞれ載るような形にさせていただき、最終的に優位性を比較した際に、こういうところで差が出たというコメント形態の方がいいのかなど。悪いところではなく評価するところの差で見ているところが皆さんあると思うので、コメント欄のところには、できれば加点要素をまとめて、最終的な優位性で比較した結果、こういう順位になったという流れの方が見せ方としていいのではないかなと思います。

(会長)

僕も次のところで言おうかと思ったのですが、優位性が高くはないエリアについてご指摘されているキーワードで、大事なキーワードもある。例えば、次のページですが、盛南エリアで新たなシンボルとしての期待があるとか、それはもちろんなんですけども、一方、シンボルとしての期待は、別のエリアでも当然期待はありますし、最終的に今後の新しい市庁舎を考えるうえでのキーワードとして使えるようなものは、載せておいてもいいんじゃないかと思ったところです。

ちょっと飛ばしてしまいましたが、まずは、この2ページ目、上位計画・都市計画について、皆様いかがでしょうか。まずはよろしいでしょうか。

3ページ目「周辺環境への影響」ということで、これについてもいかがでしょう。

事務局に質問ですが、さっき言ったシンボルという言葉がありますが、ここでは、視覚的、物的なシンボルというイメージでしょうか、それとも、心のよりどころとか総合的なシンボルというイメージでしょうか。

(事務局)

そこまで詰めたわけではなく、コメントの中から抽出して、特徴的な言葉、評価するのにわかりやすい表現ということがあって、シンボルという言葉を使わせていただいたものです。おそらく両面の部分はあるのかなと思います。

(会長)

あくまでこれはエリアの評価だとは思いますが、新しい市庁舎ということの意味においても、その際にシンボルとは何かということをもたえなければいけないと思うんですけども、大事なことのひとつのような気がしたところです。皆様からいかがでしょう。

(委員)

今のこととちょっと関係があるのですが、自分のコメントをひとつ明らかにしますが、盛岡駅西エリアの「◎」の2番目、「新しい盛岡の象徴として起爆剤となりうる」というのは私が出したコメントなんですけども、このコメントは集約されてまして、もともと私が出したコメント

としては「盛岡駅前のシンボリックな存在としてプラスの効果に期待したエリア」と書きました。これの意味は、物的なものというのが第一、盛岡駅前の玄関口としての、市の玄関口としてのシンボルという意味で書いたもので、象徴と直訳されると、ちょっと私としては不満が残る。駅前に、別に大きくなっていいのですが、これが盛岡らしいよねという存在を配置するというのが、駅西エリアの一つの魅力じゃないですか？という意味でシンボリックという言葉を使ったので、ちょっと象徴というのとは違うんですね。仕方ないとは思いますが、「総括」に生かされるときに、慎重な表現の選定というものが求められるなど改めて感じました。人によっては誤解すると思います。

(事務局)

このコメントはあくまでも事務局で整理したもので、もちろん修正は可能です。

(会長)

自分の意見が載っていないところもあったんですけど、それはそれで、事務局としてカットしたという形ですか。

(事務局)

どうしても紙面上の限りがありますので、特徴的なものとか、逆に同じような意見が多かったものは事務局の方で整理させていただいた形です。

(会長)

似たものがないときは、指摘というか、これ載ってないんですけど、と言ってもいいということですね。

(事務局)

もし、こういったコメントをぜひ載せたいということであれば、そういったご意見をいただきたいと思います。

(会長)

これは載せておかないとだめだよ、というものがあれば、それはぜひお願いします。個人の言葉というよりも、それらを集約して事務局の方でおまとめいただいているところで、それで良いか、あるいはもしそれが不適切ということであれば、また変えてくださいということかと思えます。皆様からいかがでしょう。

(委員)

ここに限った話ではないですが、例えば、ここで言うと、盛南エリアの「○」のところで「都市計画の見直しにより、新たなまちづくりが可能である。」とあります。我々はこの評価をするときに、現時点でのことを考えて評価をするのか、こうしたらもっとよくなるよねといった伸びしろ部分に期待しての評価をするのかというところで、「○」を「◎」にする、しないというところがありましたが、他の項目でも、今紹介したところ以外にも、こうすればもっと良くなるのに、みたいところが、ぱっと見た感じ、そんなになさそうで。そのあたり、事務局でどのよう

に取捨選択したのかなというのが気になりました。

(会長)

前回の審議会で、まずは現状で評価するということでのご意見だったと思うんですけど、そのあたりの取扱いについて事務局の方いかがでしょうか。

(事務局)

前回の審議会で、まずは現状のところでのやるのを基準にしましょうというご意見がありましたので、それをベースにまとめさせていただきました。将来的な展望というのもコメントにありましたので、これについても可能な範囲で幾つか選んで記載させていただきました。

(委員)

そのときに、都市計画の見直しによってとか伸びしろ部分がかかれていたものと、私が書いた中でも、伸びしろの部分を書いているけどそこは無かったりとかするので、そこがどうやって選ばれたり、選ばれなかったりしたのか気になりました。

(事務局)

その辺は、我々としてもなかなか判断が難しかったところです。明確な基準を定めていたわけではありませんが、最終的に基本構想を整理するにあたって、必要なコメントということで整理させていただいたところと考えております。先ほどから申し上げているように、この部分は載せる必要があるということがあれば、検討はしたいと考えております。

(会長)

別に他意があるわけでもなく、また紙幅の関係もあって事務局なりに整理されてると思うんですけども、その上でもこれはぜひ載せるべきだと思うものがあれば、強くご指摘をいただければということかと思えます。恐らくその伸びしろの部分は、これと別に最後の全体のまとめみたいなところで、おそらく書かなきゃいけない、むしろ書くべきことではないかなとも思えます。ぜひ、載っていないけど大事だからと思うことがあれば、その都度ご指摘ください。

とりあえずこの段階ではいいでしょうか。皆様からいかがでしょう。

では次に進めさせていただきます。4ページ目「官公庁・周辺施設との連携」ということで、これについていかがでしょうか。

今の伸びしろの部分と同時に、一方でこれのDXの部分という、ちょっと伸びしろとはまた別の読めない部分というのも、その辺もまた難しいところかもしれませんね。

このページいかがでしょうか。細かいことですけど盛南エリアの「◎」で、「3エリアともそれぞれ期待できる」という「◎」は、この盛南エリアの「◎」に入るんですね。

(事務局)

はい、たまたま盛南エリアの「◎」のコメントだったものからです。

(会長)

よろしいでしょうか。では、5ページ目「経済的効果」ついていかがでしょう。

(委員)

この経済的効果のところ、載せてほしいものがなかったのが、ご検討いただきたいのが、盛南エリアのところ、「○」のコメントで「中心拠点の二極化に伴う経済損失が懸念される」というコメントがあるんですけども、私は逆に、「二極化に伴う経済損失を含む二極化の悪影響はそれほど心配ないと思う」という意見を出しました。今の内丸から盛南地区に移転したとしても、盛南地区のプラスの部分というものを考えたときに、内丸からなくなったとしても、それなりのプラスの効果というものはあるんじゃないですか、という意見を書いたんですけども、そこがちょっと載っていなかったのが、仕方がないものなのでしょうか。

(会長)

専門的、技術的な判断も迷うところですね。

(委員)

先ほどから、コメントがそのまま反映しているとかしてないとか、書いてないのはなぜだろうというのがかなりあると思います。それぞれこのA3で1ページに各テーマの評価を集約するためには、ある程度事務局の方で整理せざるを得ないとか、見方によっては取捨選択せざるを得ないと。ただ、そうすると、いろんな委員の方から出ているような、重みづけからすると違うのではないかということがあると思うので、可能であれば、資料2の評価の取りまとめはこれで行くとして、それ以外に別途それぞれのエリアについてそれぞれの項目についてどんなコメントがあったかというのを、巻末なり別紙に全部漏らさず入れてしまった方がいいように思う。

(事務局)

確かにご意見があったような部分もあるかと思しますので、資料についても委員の皆さんがそういう形の方がいいということであれば、資料として全部の意見を記載することについても検討したいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

資料はこのままでいいと思いますが、各委員さんがどのようなコメントを出しているかというのは、やはり我々の考えを再検討する意味ではきっかけになるので、別紙で一覧だけで整理しなくていいので、単純にコメントを、どういうことを載せていたかということが分かれば、それを参考にして自分の考えをブラッシュアップしていけるので、できれば省かないで、全員がどういうことを書いているかというのを出していただきたいです。

(事務局)

市の方で検討したいと思います。名前、誰がどのコメントを書いたかというのは無しでよろしいでしょうか。

(委員)

名前が無くては良くて、特に聞きたいときは、こういう場で質問してお聞きすることはできるので。ただ、発想のため、いろんな方がどういうことを考えているかというのを見ておきたい。

(事務局)

わかりました。

(委員)

今の続きでいくと、ポジティブな意見とネガティブな意見が同じところが出たというのがあったときに、それはそれぞれの持っている感覚で答えているわけなので、そこに対してどういうことを議論していったらいいのか、あるいはどういったデータを調べていったらいいのか、次のアクションのための材料になってほしい。みなさんの意見を見てブラッシュアップするのはもちろん大事だし、それで意見が集約されるのは大事ですけど、それと同じように、今後何をより検討しなければいけないか、みんなでつかみ損ねているところをどうやって明らかにしていこうとか、そのためにも、どちらか片方だけの意見が載るよりは、特に意見が分かれている場合は、明らかにしてほしいと思います。

(会長)

私たちが新しい気付きのうえでということと、大事な意見をこの段階でそぎ落としてしまうのはもったいないというか、後ほど振り返るうえでも、そのチャンスは常に残しておくべきかと思っていますので、ご検討いただければと思います。

(委員)

結局、1ページに収めるために削除しなければいけない意見が出ているということだと思うので、第11回審議会で素案を検討する際は、参考資料という形で一覧を載せて、そこで審議会の中で入れた方がいいかを検討するための資料を作成いただくのは考えられるのかなど。これはご提案ということでお話ししました。

(会長)

これもひとつのご提案ということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

ほか、このページいかがでしょうか。4つあるいはこのページ全体にわたっていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

最初の項目だったので、全体にわたることも含めていろいろご意見いただきましたけど、またお気づきのことがありましたら振り返りつつと思います。

では、「B 市民利便性／交通アクセス」について、事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨5のとおり説明\*\*\*

(会長)

では、6ページ目「公共交通・歩行者環境」についていかがでしょう。

(委員)

生産年齢人口に伴う維持が困難ということと、逆意見でプラス評価の方では逆に新しいバス停が増えるということと、相反する意見が並ぶようなところになっているが、コメント欄にそれが存在しないです。やはりきちっと全部フィルターをかけずに審議の段階では見るということで、「総括」の部分の書き方も少し変わってくるのかなと。前段のAのところでは、相反する意見とあったところの観点が「総括」に盛り込まれていない、ここでは盛り込まれているなど、「総括」の見せ方については、今、議論はしているものの、やはり全容を見た中でまとめるという作業を、別途設ける必要があると思います。

(会長)

いずれにせよ次回また、この「総括」の部分を含めて、もう一回確認のチャンスがありますもんね。

(事務局)

はい、次回も同じく審議いただきます。

(委員)

漏れとか、全部反映できないという話と通ずるところがありますが、6ページ目の評価項目が公共交通・歩行者環境という項目で、7ページ目が自動車交通という評価項目で、自転車はどこに入るのかなと。私は、公共交通・歩行者の方でコメントしたのですが、自転車交通というのも交通手段の一つとして大事なのかなと。盛岡の場合は、冬場に路面が凍るので、自転車交通を広める難しさというのはあると思うのですが、環境政策でカーボンニュートラルという取り組みなどで、移動手段としての自転車の大事さというのはあります。やはり当てはまっていないので、項目としてはっきりカットされている。盛り込んでいただくというのも一つの提案かなと思ってお伝えしました。

(委員)

関連ですけど、駅西の場合、JRの駅そのものがまだ不完全です。西口の方には窓口がないです。計画はある、土地も買っているが、未だに自由通路を通過して東の方に行かなければ乗れない。新幹線は仕方ないとして、在来線とか窓口が整備されていないとやっぱり西口は不便だなと思います。西口の方に行くときはバスで行きます。自転車でも大変です。陸橋を渡るというスタイルでなかなか行けない。そういった意味であの辺はまだ整備が不十分と感じる。

(会長)

まあ、その辺も課題というところですね。

(委員)

今の盛岡市庁舎を見ていても、自転車で通勤されている方も結構いらっしゃるし、市庁舎に来られる方で、自転車で来られる方も結構いらっしゃいます。盛岡駅西口なんかで見ると、かなり大きな24時間使えるような駐輪場があって、逆に東側の駐輪環境は悲惨ですけど、ここで、

自動車交通と公共交通の交通環境で自転車がどちらかと言えば、間違いなく公共交通・歩行者環境の方に自転車は位置づけられる。これは、エンジンつきかどうかというところが大きく、1人あたりのスペースをたくさん取るか取らないかによる。回遊性とかそういうところまで含めると、歩行者と自転車は同じ枠組みとなる。ただ、道路交通法を考えると、要は自転車をどう使うかというときは自動車、同じではないけど車両としての感覚を持つ。むしろ歩行者の感覚は持たないでほしい。

(委員)

3つのエリアについて自転車専用道路を設けるかどうかという観点から出した意見であった。あとは駐輪場をどうするか。実際に盛り込んでいただけるんだったら、意見には出してないですけど、どう確保するかということも大事になってくる。駐車場もそうですけど、自転車交通の移動・来庁というのを考えたときには、もう少し意見を加える必要があるかなと思います。

(会長)

どのような場所、形かは別としても、しっかりと入れておくようにしましょうか。

Bの両方の審議となっていますが、「公共交通・歩行者環境」「自動車交通」の6ページ、7ページいかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

次はCについて、これも事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨6のとおり説明\*\*\*

(会長)

ありがとうございます。まず、8ページ「洪水・水害」について、いかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

(会長)

では、次の9ページ「地震・液状化・火山噴火」について、いかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

(会長)

では、次の10ページ「災害対応・防災拠点」について、いかがでしょうか。あるいはC全体についていかがでしょうか。こういうときのリスク回避は、どう考えるべきなのでしょうね。要は、一緒じゃない方がリスク回避というのもあるでしょうし、一方、近くの方が、連携が取りやすいという考えもあるでしょうし、このあたりどう考えるのかなと思ったのですが、どうでしょうか。

(委員)

近くで連携しやすいことを評価するのか、リスク分散・回避で、それぞれ独立すればいいのか、どちらも評価できるように思います。そういう意味では先程来の、現状での3エリアの評価で考えていくのか、将来性や可能性に力点を置いて3エリアを評価するのかで、全然書き方は変わりますし、「○」とか「△」の付け方も変わってくるので、なかなかこの会議では難しいかもしれません。個人的に思うのは、それぞれ同じ人の評価を横並びで見ることができると、何がそこでの課題なり可能性、将来性があるのか見やすいのかなと。プラスの部分の評価するのか、マイナスの部分に着目すべきかで大きく変わってくるので、この部分だけでよし悪しを見るのは難しいかなと思います。そういう意味では、先ほどいろんな委員の方から出たように、加工しないものをどこか別の形で残した方がよいと思う。

(会長)

先ほども出たところですけど、参考資料とするかどうか、ご検討ください。

3つの項目についていかがでしょう。なかなか全てきれいにまとめるというのは難しいかと思えますけど、ある程度の整理は必要かと思えます。

とりあえず、この段階ではよろしいでしょうか。では次、Dのご説明をお願いします。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨7のとおり説明\*\*\*

(会長)

このDについても、また最初の項目から見ていきたいと思えます。11ページ「用地取得可能について、いかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

次の12ページ「供用開始までの期間」について、いかがでしょうか。

(委員)

D全体の話になりますが、現状で一番不確定要素があります。現状ベースで判断したときに、土地を持っている駅西だけがプラスの要素になって、あとはみんな同じという観点になってしまっているのかなと。交渉条件で全然変わりますし、また、今後の行政サービスの在り方で必要となるスペースであるとか、今後の状況で変わる要素があるので見分けがたい。こういう観点はコメントでもあると思えますが、このDには変動要素があることも「総括」の中でまとめていく必要がある。

(委員)

Dのトータルの集約評価と「総括」の話ですが、Dの中であれば、5つだったら5つの項目の中で「集約評価」や「総括」と書いておられるんだけど、D全体の総括を盛り込むかどうか。

盛り込むとするとさらに難しくなるというところではありますが、一方で、やはりトータルの、D だったら5つの項目の要素を含めた集約評価が必要になるのかなと思います。今後の検討になると思うが、ここで確認できるようにしていただければと思って出しました。

(会長)

そういう意味ではAからEの中でも、Dは今ご意見あったように、読めないような部分があるという特徴があるのと、今のご指摘の各評価項目についての「総括」と評価区分についての「総括」を、例えばDだけやるのか、すべてでやるのか。事務局としてこの段階で、何かお考えやご感想はありますか。

(事務局)

現時点では、評価区分での総括は考えておりませんでした。そういったご意見があれば検討したいと思います。

(委員)

改めて見ると、Aの評価項目は4つ、Bは2つ、Cは3つ、Dは4つ、Eは2つとあって、点数自体は全部足している。そうしたらもうその時点で、何だか重みづけがされているところがあって、Dが結構重くなっている。それでいいのかなというところ。どう取り扱っていいか、考えないといけないなど。

あと、自分の意見をばらしてしまいましたが、11ページの盛岡駅西エリアの「△」に意見が2つあるのですが、これは、一文で書いたつもりだったんですね。要は、市営駐車場って当然固定資産税はかからないわけで、本来一等地はしっかり民間で稼いでいただいて、盛岡市の税収にしていただけると地域としてはすごいありがたいということです。すごい安い価格で駐車場を運営していて、今後もそうやって民間で活用されないということだとまずいなど。一文として書いたので、2つになっていると2人からそれぞれ意見があるように見えて誤解されそうかなと。

(会長)

そういう意味でも、別途そのままの資料が大事になってくるかもしれませんね。あと、最初のほうのご質問で、重みづけの部分は、先ほども議論ありましたように、その辺も含めて検討していただければと思います。

では、11ページあるいは12ページ「供用開始までの期間」はこの段階でよろしいでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

では、次、13ページ「敷地配置」についてはいかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

では、そのままDの最後の14ページ「駐車場配置・動線計画」についていかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

あるいはD全体にわたって、いかがでしょうか。

ちなみに事務局に質問ですが、先ほどからみなさん、どのようなご意見があるかを知りたい、

あるいは残すべきだということで、ご対応いただければと思うのですが、一方、せっかくご努力されて集約いただきましたが、ボリュームとして何倍くらいになるのでしょうか。

(事務局)

3、4倍かなと。

(会長)

では、それが三分の一くらいに集約されていると考えればいいんですね。

Dについていかがでしょうか。とりあえずよろしいでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

では、最後、Eの部分について事務局からご説明をお願いします。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨8のとおり説明\*\*\*

(会長)

ではまず、15ページの「事業費」について、いかがでしょうか。

大きな差はない。非常に単純な感想ですけど、いずれも「総括」は書きづらいのかな。

(委員)

おそらく現時点での情報量に基づいての評価においては、大きな差がないが、そもそも大きな差がないわけではなくて、情報が増えることによって差が出るという過程のところを消去してしまっているから、文章的には座りが悪いように思う。そういう前提的なお話を、総括の中で必要な部分に関しては入れていく必要が今後あるかなと。

(委員)

今おっしゃったことの補足として、「総括」のところに、こういう部分が明らかになれば検討によってさらに精査できる、とかですね、今後の展開とか情報提供によっては吟味できる要素がでてくる、ということを付記というか付けたしてもいいのではないかと思います。

(会長)

ありがとうございます。15ページ「事業費」について、いかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

では、次、16ページ「その他」について、いかがでしょう。

(委員)

その他の「総括」で言うと、これも書き方のところになりますが、「これまでの歴史と今後のまちづくりについての考え」というところ、一軸で評価しているわけではなくて、これまでの歴史の継続についての評価と、今後のまちづくりの評価は、それぞれ別軸の評価となっています。おそらく内丸は歴史的に評価できるけど、盛南は新たなまちづくりで評価できる、違う軸での評

価であり、ここだけは同一軸で見えていないので、そういう観点がわかる記載にしていく必要があるかなど。

(会長)

その辺は完璧とは言えないまでも、表現を少し丁寧に押さえてほしい、というところでしょうか。おそらく一行ではなく、もう少し加わるんじゃないかと思います。

Eの部分、先ほどの「事業費」、「その他」2ページについていかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

では、AからEまで15の項目について見てきたところですが、改めまして、各項目についてもいいですし全体にわたってもいいですし、これまで振り返っていかがでしょうか。

(委員)

AからEまで見てきたのですが、前提として、各委員の方で「◎」「○」「△」「×」の評価に基づいて点数化したことは、ベースというか基本かと思います。改めてちょっと振り返ると、各委員の方が「◎」なり「○」「△」をつけたときに、持ち点を全部そろえていたわけではない。例で言うと3エリアが全部「○」と横並びにしてもいいというような話であった。ぜひお願いしたいのは、今回各ページに基本理念、基本方針が書かれているのと同じように、評価基準のところ「◎」「○」「△」「×」の説明に、この評価というのは絶対的評価ではなく、各委員の相対的評価に基づいて記載されているという一文をぜひ入れていただきたい。絶対評価にとられると大きな誤解というか、かなり根底から変わってしまう。

(会長)

より正確な説明として必要かと思いますが、事務局としてどうでしょうか。

(事務局)

市民の方に説明する際にまとめていかなければならないと思うが、委員の持ち点が違うというような意味なのでしょうか。

(委員)

個人の感覚で「○」で留めているところもあり、10点なら10点を使い切っていない。

(事務局)

委員さんとしては、記号で評価しているのであって、数値化しているわけではないということを確認するという意味でしょうか。

(委員)

「◎」「○」「△」「×」がみな同じベースにしているものではない。それぞれの委員の頭の中でつけているものなので、絶対評価じゃなくて相対評価であることは触れていただかないと、市民はもちろん全員協議会とかでそこを聞かれた時に資料へ明記されていないと、もし、私が事務局であれば説明できない。あくまでも各委員の相対評価に基づく結果であることは、ぜひそれぞれのページに書いていただきたい。

(委員)

ある人は「◎」と「○」だけで評価している人もいれば、ある人は「○」「△」だけで評価している人がある。「◎」の人は3点使い切っているけど、「○」「△」で評価した人はそういう観点でいくと点数の使い方が違うので、点数の重みづけが人によって実は違うというところ。

(委員)

良い言葉は出ないがとにかく、絶対評価じゃなく相対評価だという言葉は、可能であればぜひ。とにかく統計的な話でいうとこれが違うと全くおかしい話になってしまうので。そういうくんだりはどこかに入れておかないと、見る人が見たら、そこを突っ込まれたら資料自体の根拠が揺らいでしまうのかなど。

(事務局)

例えば、「◎」を2つ付けている人、3つ付けている人として、そういう中で相対評価になってくるのでしょうか。

(委員)

例えば、「◎」は、ある項目では1個しか付けられないとかそういう基準にはなっていない。そういうことでこれは付けられていますということが、きちっと触れられていれば問題はないと思います。

(事務局)

例えば、「◎」については1個じゃなきゃいけないとか、とにかく差をつけなければならないという評価にはなっていないということが書かれていれば。

(委員)

そういうことが同じように全部書かれていれば、誤解はないかなど。

(事務局)

まだ整理できていない部分もあるので、改めて考えさせていただければと。

(会長)

何と言うか、評価に際して各委員の持ち点というか、重みづけは各自で異なり、全体として相対評価で表されたものであるとか、そういう一文がほしいということですね。ちょっとうまい表現ではなかったですけど、ぜひお願いします。

(委員)

それが各ページに反映していただくという前提で、ご相談というか私なりにどうしたらいいのかという変な悩みですけど、事務局の方もしくは事務局にこだわらず委員の皆さんのほうで、統計をご存じの方から少しアドバイスというか何か知見をいただければと思います。そもそも

「◎」「○」「△」「×」というのは絶対評価に基づくものではなく、相対的な評価の結果だとなってる時に、見ての通りこの各ページの資料というのは下半分の集約は全部点数化して、優位性が何パーセントで大きいとか小さいとか大小が出ていますが、相対評価に基づく点数化でこれ

を出すということを、仮に私なら説明できないというか苦しくなる。取り越し苦労かもしれませんが、どうやって説明されますか。このあたり統計的な知見は。

(委員)

本来でいうと社会調査法では公定法という、何を何点、何を何点という、あと、ほかにも序列法といって順位づけをそれぞれ出す方法などがある中で、個々人がつけたものを集計することは普通に統計では行われていることではある。もちろん、ただどれだけの人がいたら統計的に有利ということはありませんけど、今、このやり方自体が手続きに則っていないと言われることはきつくないのではないかなと。どのみち何が何点とつけないと、どうにも比較のしようがない。皆さんにどのような手順で進められているかということだけ、きっちり誤解のないように書かれていることが大事だろう。今回ありましたけども、各人の「◎」の思いと「○」の思いが全く同じかどうかというとそうではないだろうと。そういうあたりはしっかり記載していただきたい。

(委員)

資料1の黄色の人数になっている評価が、絶対評価に近いものだろうなと思います。これは個人単位で、どれが優位かどうかを明確に定めて出しているのです。それぞれの思いが相対化されているのは、点数の方かと。この点数の方と人数が違う結果であれば、それぞれのウェイトで違いが出る可能性があります、幸いなことにどちらも同じ結果を導き出しているのです、絶対に見ても相対に見ても順位が変わらないんじゃないかなと。それぞれの合計点と人数のところの意味合いが違うとは思って見ていたのですが、結果、どちらから見ても同じなので、総意としては変わらないということと言えるのかなと思います。

(会長)

最初の方で事務局の方でご説明いただいた、こういう見方もした、こういう見方もした、結果としては同じだったからこれでいいだろうということかと思えます。

(委員)

ただ、さっき言いましたように、Aの項目の数とBの項目の数が違って足し算されているので、例えば、Aの平均点をとってみたりBの平均点をとってみたりというところの確認はしておいた方がいい。

(会長)

それでもまあ、結果は変わらないと。

(委員)

見ているときっとそうだと。

(会長)

その辺を、要はすべて確認したんだ、それでも一緒だったんだっていうのがあればいいんじゃないかと思えますし、その説明を一言入れておいてくださいということかと思えます。

ほか、全体に渡っていかがでしょう。

(委員)

あの、評価の仕方について感じたことですが、現時点での3か所のエリアを評価したと思うが、やっぱりもう少し将来を見越した視点の中で3か所の評価をするべきではないかなと、私は思っています。現状で評価してしまうと経済効果なんていうのは、現状のところが一番良くて、新しいところに行くと経済効果の評価は落ちるんだけど、将来的にここに移転した場合はもっと可能性が伸びる、効率的な場所だと。あるいは防災の観点でも、線状降水帯が出来て水害が一番課題になると思う。その防災拠点に人が集まらない場所に建てても、人が集まらなると防災対策にはならない。将来的にも県庁がここにいるとは限らないというように思います。逆に言えば、将来を見越した視点の評価も加えるべきだと感じていました。

(会長)

実際に評価しながら感じられたこと、先ほどの、伸びしろの部分はどう評価するのかということかと思えます。いずれにしても、今この段階で扱うかどうかは別としても、何らかの形でそういう視点も重要だということは必要かと思えます。

ほか、全体に渡っていかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

では、この15項目の結果、最終的な数字、重み、優位性については、この段階で、これでよいということでしょうか。あと、「総括」、内容の書きぶりについては、また事務局のご検討ご提示のもとに議論できればと思います。

次の議事、「今後の進め方」について、事務局からお願いします。

(事務局)

\*\*\*事務局説明要旨9のとおり説明\*\*\*

(会長)

はい、ありがとうございます。今のご説明、進め方についてご質問いかがでしょうか。

\*\*\*意見なし\*\*\*

あとは事務局にお任せしてよろしいでしょうか。

(進行)

議事の進行ありがとうございました。次第の「4 その他」ですが、事務局から連絡でございます。次回、第10回審議会は5月22日水曜日、午後6時から盛岡市総合福祉センター4階講堂、で開催します。また6月下旬に予定しております第11回審議会、7月下旬に予定しております第12回審議会の日程につきましては、後ほど日程調整表を皆様にお送りいたしますので、ご協力お願いいたします。本日の議事の内容につきましては、議事録を作成しまして、委員の皆様のご確認

後に、盛岡市ホームページ上で公開させていただく予定にしております。

その他、委員の皆様から何かございますでしょうか。

それでは、以上を持ちまして、第9回盛岡市新市庁舎整備審議会を終了いたします。ありがとうございました。

### 《事務局説明要旨 1》

報告事項としては、前回第8回審議会の開催結果をまとめたものです。前回の内容としましては、報告として、審議会の開催経過、市議会への説明及び意見、議事として令和6年度スケジュール、整備エリア評価表、事業手法・整備方法、財源について審議いただき、それらのご意見をまとめたものとなっております。詳細な内容については審議委員の皆様既に確認いただいておりますので、説明は省略させていただきます。

### 《事務局説明要旨 2》

「(1) 整備エリアの評価概要」ですが、審議委員の皆様には評価いただいた中身について改めて整理させていただいたものです。説明は省略させていただきます。

「(2) 集計方法と集計結果」ですが、資料1と合わせてご覧いただきながらお願いします。資料1は、審議委員の皆様の評価について整理させていただいたものです。審議委員の皆様はアルファベット表記で、順番もランダムに変えております。結果について、中段に合計が書いてありますが、記号「◎」を3点、「○」を2、「△」を1、「×」を0として数値化し、その合計が各委員の皆様各エリアの評価の数値となっております。前回の審議会で、数値化ということについては具体的に言及がなかったのですが、数値化した方が分かりやすいと判断し整理したものです。

この数値化により、各委員の皆様各エリアの合計値を算出させていただきました。こちらをさらにエリアごとに整理したものが、下の方になっております。審議委員の皆様のところでも最も数値が高かった箇所を赤書きにしまして、整備エリアとしての優位性が高かったという形で表現させていただいております。この結果として、内丸エリアが7名、盛岡駅西エリアが4名、盛南エリアが1名、内丸エリアと盛岡駅西エリア同位が1名ということでまとめさせていただきました。

次に、資料の2を合わせて見ながらご説明したいと思います。

まず、資料2の1ページ目についてですが、こちらは各項目の一覧を表として取りまとめておりまして、その全体の結果を下の方に記載しております。表の作り方についてご説明するために、2ページ目をご覧いただきたいと思っております。一番上のところは先ほどの表と同じ作りになっておりまして、上段のところでは各項目について、どの項目か、その評価視点、評価基準について記載させていただいております。真ん中の段の上の方は、項目に関して各委員さんがエリアごとに評価した中身になっております。人数は、それぞれの記号をつけた評価委員の皆様の数になっておりまして、その下に記号ごとに、委員さんからコメントを、事務局で要約させていただきながらまとめております。

このうち一番左側、内丸エリアの「○」のところには、「コメントなし」がありますが、「○」という評価はいただいたんですが、コメント欄に何も記載がなかったというのに関しては、このような表記でまとめております。また、「△」と「×」のところには横棒線が入っております

が、ここは、そもそもこの記号の評価をした方がいらっしやらなかったということです。

コメントのところにはエリアの共通コメントというのがありまして、それぞれのエリアの比較をしていただくのですが、エリアに共通するコメントがあった場合は、別個に整理させていただき、例えば、2 ページ目のについては重みづけに関してコメントをいただいておりますので、その重みづけについてまとめております。ただ、その重みづけにつきましては、「上位計画・都市計画」の部分のみ、ここの一か所のみいただいております。

その下の「集約評価」のところは、先ほどの点数をもとに整理した評価となっております。委員さん13名が、最高点は3点ですので、満点だと39、それに対して総点が36だったというような形で、39点中何点だったかを、4段階の評価で改めて「◎」「○」「△」「×」で示した場合に、「優位性」は39分の36で92.3%になるということで、「◎」に値するという形で整理させていただいております。同じように駅西エリアだと「○」、盛南エリアだと「△」という形で整理させていただいたものです。

さらに一番下の「総括」と書いておりますのが、上の方の各委員さんにおけるコメントを、優位性等を鑑みながら整理したもので、基本的にはこの項目についてのまとめとして整理したものとなっております。

こちらを15項目全てで整理してありまして、最初1 ページに戻っていただきますと、各評価項目について各エリアの評価が、委員の皆さんの評価を数値化したところこうなりましたという表になっております。上の段の右側の「参考」のところには「傾向」という欄がありますが、こちらが「優位性」のパーセンテージをグラフ化したものになっています。そのうち赤色のものが、一番優位性が高かったエリアです。左側から内丸、駅西、盛南という形で並んでありまして、一番上の「上位計画・都市計画」のところだと、最も優位性の高かった内丸が赤になっています。

また、同じ記号の場合、例えば、5番の「市民利便性／交通アクセス」の「公共交通・歩行者環境」のところについては、内丸エリアと盛岡駅西エリアが同じ「◎」になっておりますが、「優位性」の高い盛岡駅西エリアが、優位性があるということで赤になっております。

点数をエリア別に見た場合の合計の数値で見ると、13名の委員の皆様は15項目を評価していただいて、満点が3ということになりますと合計で585、これに対して内丸が431、盛岡駅西が396、盛南が333ということで、ここでも内丸に優位性があるという形になっております。

また、表の一番下の参考は、記号ごとの点数付けはしないで、単純に記号の数で整理させていただいたものです。「◎」が何個だった、「○」が何個だったということを、各エリアで整理しています。内丸であれば「◎」が73、「○」が92、「△」が28、「×」が2となっており、同じように、盛岡駅西や盛南でも数字を出しております。

こちらの場合、例えば「○」だけを見ますと、内丸エリアでは92だったのが盛岡駅西エリアでは103で、「○」の数でいくと駅西の方が多いことになりますが、この「◎」と「○」を足した数で見ると、内丸が165に対して盛岡駅西が154、逆に「△」と「×」を足した数が、内丸が

30に対して盛岡駅西が41というような、やはり記号の数だけ見ても、順番からすると内丸、盛岡駅西、盛南という形での優位性が確認できたかなと考えております。

こちらは市の方で市民の皆様からいただいた結果を数値化し、整理したもので、純粋に審議委員の皆様が評価したものととは意味が異なるかもしれませんが、事務局としましては、いったんこのような形で整理させていただきました。

### 《事務局説明要旨 3》

最初の資料の2ページ目に戻っていただき、「(3) 記載内容の検証」からご説明させていただきます。

本日は検証の中身としまして、各評価コメントについて検証いただきたいと考えております。資料2の各項目のコメントでございますが、事務局の方で審議委員の皆様からいただいたコメントを要約して記載させていただいたものになっておりますので、こちらの内容の適正性、表現等に誤りがないか、また、「集約結果」や「総括」との整合性が取れているか審議いただければと考えております。「総括」が、各項目の評価の取りまとめで、基本構想にも実際この中身を整理して表記したいと考えております。

「(4) 整備エリアの選定」でございますが、本日の審議結果、様々なご意見が出るかと思えますので、それについて改めて資料に反映・整理させていただいたうえで、次の第10回審議会において、審議会としての整備エリアの方向性を明確にしていく方向で考えております。

### 《事務局説明要旨 4》

項目ごとに審議を進めていただきたく思います。事務局からの説明は、評価区分のABCDEごとに説明し、その後に評価項目ごとに審議いただきたいと考えております。

それでは2ページ目、評価区分「A まちづくりへの影響」、評価項目「上位計画・都市計画」です。評価視点、評価基準は、資料に書いてあるとおりでございます。各エリアにおける評価、記号ごとの人数についても、こちらに書いてあるとおりです。コメントについても、記号ごとにまとめたコメントになっております。

先ほどご説明した集約方法による集約結果としては、内丸が「◎」、盛岡駅西エリアが「○」、盛南エリアが「△」となっています。総括としましては、内丸エリアが最も各計画との整合性が高いという評価、盛岡駅西エリアは各計画との適合性は高いものの、内丸エリアに比べると低いという評価があったものであり、盛南エリアは将来的な発展が期待できる一方、各計画との整合性が低いとまとめたものでございます。

次に3ページに移ります。評価項目「周辺環境への影響」になっています。評価の視点及び評価基準については、こちらに記載のとおりで評価いただきました。また、各委員における評価、コメントについても先ほどと同じように、記号ごとエリアごとに整理させていただきました。

集約結果としましては、内丸エリアが「◎」、盛岡駅西エリアが「○」、盛南エリアも「○」となっております。総括としましては、周辺環境との調和や与える影響を基準に評価がなされており、これまでの歴史性や各種計画との連携から、内丸エリアが最も適合性が高いという評価、盛岡駅西エリアはアクセス性の高さや駅を中心とした賑わいに期待できるとの評価、盛南エリアは新たなシンボルとしての期待がある一方、時代の変化に伴うまちづくりの影響を懸念するという評価としてまとめたものでございます。

続きまして4ページ目「官公庁・周辺施設との連携」でございます。評価視点、評価基準は記載のとおり、また、各委員の評価、コメントについても同じように整理しております。こちらではエリアの共通コメントという形で、今後のDX化により連携の変化について期待がされるというコメントをいただいているものでございます。

集約結果としましては、内丸が「◎」、盛岡駅西が「○」、盛南エリアが「△」となっております。総括の方は、官公庁施設が多く集まる内丸エリアが最も高い評価であった。盛岡駅西エリアは消防本部や一部の官公庁施設との連携が可能との評価であり、盛南エリアは民間事業者との連携に期待する評価があるものの、周辺の公共施設の性格から連携効果の薄さを指摘する評価とまとめたものでございます。

続いて、5ページ目「経済的効果」でございます。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。こちらについては、盛南エリア「△」となっているんですが、上の審議委員さんの人数で見ると「○」が一番多いという形になっているんですけども、「△」の人数が多かったために、数量的に結果を出していくと、記号のところでは「△」になっております。

こちらについて集約評価としましては、内丸が「◎」、盛岡駅西が「○」、盛南が「△」となっております。総括としましては、これまでの背景や移転によるマイナス面から、現在と同じ内丸エリアが最も適合性が高いとの評価、盛岡駅西エリアは玄関口として新たなプラス面に期待できるとの評価であり、盛南エリアは庁舎周辺の賑わいは期待できるものの、中心拠点の二極化や移転によるメリットが限定的になるとの評価とまとめたものでございます。

以上が、「A まちづくりへの影響」に関する評価及び集約評価についてのご説明になります。

#### 《事務局説明要旨5》

次に、6ページ目、評価区分「B 市民利便性/交通アクセス」、評価項目「公共交通・歩行者環境」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、内丸は「◎」、盛岡駅西は「◎」、盛南は「△」となります。内丸と盛岡駅西は同じ「◎」ですが、優位性とする盛岡駅西が高くなっております。

総括としましては、盛岡駅を起点としたアクセス性や回遊性の高さから盛岡駅西エリアが最も適合性が高いとの評価、内丸エリアは既存の交通インフラの充実度や 今後の都市整備への期待ができるとの評価であり、盛南エリアは車中心の交通環境や新たな公共交通網の構築の課題があるとの評価としてまとめました。一方、各エリアに共通して生産年齢人口の減少に伴う公共交通機関の維持 が困難である点を指摘するコメントが見られた点についても、記載しております。

次に、7ページ目「自動車交通」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、内丸、盛岡駅西、盛南はいずれも「○」となっております。優位性とする内丸がわずかに高くなり、「◎」の数だけみると盛岡駅西が高くなっております。

総括としましては、3エリアとも大きく差のない評価。内丸エリアは現状と大きく変わらない点、盛岡駅西エリアは自動車分担率が低いことにより影響が小さい点、盛南エリアは既存の道路幅員等から混雑の影響が小さくなる点が評価されているとまとめたものです。

以上が、「B 市民利便性/交通アクセス」に関する評価及び集約評価についてのご説明になります。

#### 《事務局説明要旨6》

次に、8ページ目、評価区分「C 災害リスク/防災拠点性」、評価項目「洪水・水害」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、内丸は「◎」、盛岡駅西「△」、盛南は「◎」となっております。

内丸と盛南は同じ「◎」ですが。優位性とする盛南が最も高く、「◎」の数だけみると内丸が高くなっております。

総括としましては、浸水想定区域外の盛南エリアが最も適合性が高いとの評価、内丸エリアはリスクの低い場所を選定することで対応可能であるとの評価であり、盛岡駅西エリアは大半が浸水想定区域であることの懸念があるとの評価とまとめました。一方、どのエリアであっても、技術的な方法でリスク対応可能との意見がありましたので追記をさせていただきます。

次に、9ページ目「地震・液状化・火山噴火」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、いずれのエリアも「○」となりますが、優位性とする盛南が最も高く、「◎」の数だけみると盛岡駅西と盛南が同じとなっております。

総括としましては、3エリアとも大きく差のない評価。内丸エリアについては築年数の古い建物が多い点、盛岡駅西エリアは高層の建物が近接している点、盛南エリアは地盤改良を想定する点について考慮が必要と意見があったものとしてまとめております。

次に、10ページ目「災害対応・防災拠点」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、内丸は「◎」、盛岡駅西は「○」、盛南は「○」となっております。

総括としましては、近隣の官公庁や医療機関、東日本大震災の経験等から内丸エリアが最も適合性が高いとの評価、盛岡駅西エリアは消防本部との連携や県庁と離れること、つまりは共倒れとにならないことによるリスク回避について評価されており、盛南エリアは市立病院や運動施設との連携について評価されているとまとめたものです。

以上が、「C 災害リスク/防災拠点性」に関する評価及び集約評価についてのご説明になります。

#### 《事務局説明要旨7》

次に、11ページ目、評価区分「D 敷地配置／動線」、評価項目「用地取得可能性」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、内丸は「○」、盛岡駅西「◎」、盛南は「△」となっております。

総括としましては、市有地（駐車場）がある盛岡駅西エリアが最も適合性が高いとの評価、内丸エリアは用地取得が避けられないものの、エリア一体で整備していく必要があるとの評価、盛南エリアは内丸エリアと同じく用地取得は避けられないものの、広い敷地を確保できる可能性があるとの評価としてまとめたものです。

次に、12ページ目「供用開始までの期間」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、全てのエリアで「○」となりますが、優位性では盛岡駅西となっています。

総括としましては、前のページの「用地取得可能性」と同じく、市有地（駐車場）がある盛岡駅西エリアが最も適合性が高いとの評価、内丸エリア及び盛南エリアは用地交渉に時間を要するとの評価としてまとめました。

次に、13ページ目「敷地配置」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、全てのエリアで「○」となりますが、優位性では盛岡駅西となっています。

総括としましては、各エリアとも大きく差のない評価、内丸エリアは、制約は大きいものの、地域の特徴を活かすことができるとの評価、盛岡駅西エリアは駐車場などが課題となるが、課題が少なく解決できるとの評価、盛南エリアは他施設との計画、デザイン上での連続性を見出しづらいものの、景観上大きな課題はないとの評価としてまとめました。

次に、14ページ目「駐車場配置・動線計画」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、全てのエリアで「○」となりますが、優位性では内丸となっています。

総括としましては、3エリアとも大きく差のない評価であり、デジタル化推進など今後の業務の形で来庁者が少なくなる、駐車台数も少なくなることが予想され、将来の駐車場を見通すことは困難との意見がありました。その中でも内丸エリアは、現段階で与えられた環境・諸条件、愛宕町車庫や民間駐車場をうまく使えるという点で、2エリアより優位な評価としてまとめたものです。

以上が、「D 敷地配置／動線」に関する評価及び集約評価についてのご説明になります。

#### 《事務局説明要旨 8》

次に、15ページ目、評価区分「E 事業への影響」、評価項目「事業費」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、いずれのエリアも「○」となりますが、優位性では盛岡駅西となります。

総括としましては、総事業費はどのエリアでも大きな差はないとの考えと、土地代や移転補償などによって変わるとの考えで評価がなされており、結果としては3エリアとも大きく差のない評価とまとめました。

次に、16ページ目「その他」についてです。評価視点、評価基準はそのとおり、評価の人数もそのとおり、コメントについてもこちらの記載のとおりまとめさせていただきました。

集約結果としましては、全てのエリアで「○」となりますが、優位性では盛南となっています。

総括としましては、前これまでの歴史と今後のまちづくりについての考えや、工事を進めるうえでの留意事項などを基に評価がなされており、3エリアとも大きく差のない評価と

してまとめました。

以上が、「E 事業への影響」に関する評価及び集約評価についてのご説明になります。

#### 《事務局説明要旨 9》

最初の資料の3ページ目に戻っていただき、今後の進め方についてご説明させていただきます。当初次回の審議会は、5月28日を予定しておりましたが、事務局側の都合で大変申し訳ないのですが、22日に前倒しで開催させていただきたいと思います。次回は、整備エリアの選定が中心的な議題となりますので、本日いただいたご意見を反映した資料をもとに進めたいと考えております。また、最終的にどのような形でまとめるのかというところについても、案を出しながら審議させていただきたいと考えております。

今後の予定としては、第11回以降になりますけれども、基本構想（案）という形でまとめたものを6月、7月下旬にそれぞれで審議させていただきたいと考えております。その後、8月上旬に答申をいただき、市としましてはその後に、市の基本構想（案）としてまとめ、議会への報告、パブリックコメントを実施しまして、12月の下旬に基本構想の策定することで考えているものでございます。